

2024年 6月12日(水) 5校時

1年1組 27名

場所 1年1組 教室

指導者 岡野 志保

1 単元名 あわせるといくつ ふえるといくつ

2 指導計画(全12時間)

- ① あわせていくつ(3時間)
- ② ふえるといくつ(4時間)
- ③ たしざんかあど(1時間)
- ④ 0のたしざん(1時間)
- ⑤ たし算絵本(1時間)
- ⑥ 単元末(1/2時間・本時)

3 本時の目標

- ・日常生活の中から加法が用いられる場面を見つけ、問題を作る。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	○数カードフラッシュカードをする。 ○式に合う問題を、絵を見て考える。 ・□のあなうめを通して問題を作る。	・問題を作ったら答えも確かめる。 ・3つの文でできること、たし算のことば「あわせて」「ぜんぶで」「みんなで」をおさえる。
	もんだいをつくろう	
展開	○学習したことをもとに、ネコの絵になる問題を作る。 ○学習したことをもとに「$3+7$」の式になる問題を作る。	・早くできた児童の問題を例として紹介して広めたり、違う問題を作らせたりする。 ・おかしい問題にならないように気を付け、日常生活にあり得る設定で問題作りを行う。 ・問題作りが難しい児童には、これまでの教科書やノートを見たり、友達と一緒に作らせたりする。 ・まだひらがなが書けない児童にはお話をさせ、教師が書字を手つだう。 ■式から数量関係を捉え、具体的な場面と関連付けて表している。(ノート)
まとめ	○学習したことをもとに、ブロックの動きにあった問題を作る。	・ブロックの動きとそれに合った言葉を押さえてから問題作りを行う。 ■日常生活の中から加法が用いられる場面を見つけ、問題を作ろうとしている。【机間指導】

2024年 6月12日(水) 5校時

1年2組27名

場所 1年2組

指導者 上村勇貴

1 主題名 みんながつかうもの C:規則の尊重

2 教材名 『がっこうの ものは?』(東京書籍 「新編 新しい道徳」(第一学年))

3 ねらい 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切に使う心育を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	1 みんなが使うものをどのようなことに気を付けて使ってきたか振り返り、「みんなが使うものを使うときのルール」を確認する。 ・これまで学校のみんが使うものを使うとき、どんなことに気を付けて使ってきましたか? ○壊さないように気を付けた。 ○みんなで仲良くつかうようにした。 ○みんなが気持ちよく使えるようにした。 ・みんなが使うものを使うときには、きまりやルールがあります。	・ICT 端末を使っの授業はまだあまり経験していない。そのため、これからの心構えとして、みんなが使う学校のものを使うときのルールを確認し、ねらいとする価値について考えさせるための素地とする。 ・ICT 端末を含めた「学校のみんが使うものを使うときのルール」に目を向けさせ、本時のねらいについて考えを深めさせる。
展開	2 「がっこうの ものは?」を見て話し合う。 学校のことを大切に使うことができるのはどの子でしょう 【24 ページ】右下の二人 【25 ページ】奥の二人 ・正しく使うことができない人とできている人は、それぞれどんな気持ちでみんなのものを使っているのでしょうか? ○楽しくてついついやってしまう ○みんなのものだから、大切に使わないといけない	・大切に使うことができる子を見つけたら、大切に使うことができない子についても確認していく。その際、「なぜその使い方がいけないのか」について一つ一つ確認していく。 ・正しく使うことができない人の気持ちを考えることで、人間的な弱さに気付かせる。
まとめ	3 今までの自分を振り返って発表する	・これからみんなが使うものを使うときにはどんな気持ちで使いたいかも尋ね、ねらいとする価値について自分とのかかわりで考えさせる。

2024年 6月12日（水）5校時

1年3組27名

場所 1年3組教室

指導者 松本玲采

1 単元名 あいうえおで あそぼう

2 指導計画（全3時間）

- ⑦ 言葉遊びの歌を読む。
- ⑧ 自分たちで「あいうえおで あそぼう」を作る。
- ⑨ 五十音表を読む。

3 本時の目標

- ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づく。

（知識・技能）【観察・ノート】

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価（評価方法）
導入	① 「あいうえおであそぼう」の詩を音読する。 詩で気が付いたことをたしかめる。 「あいうえおで あおぼう」をつくろう。	・さまざまな読み方をする。 ・発音に気を付けて読む。
	② めあてをたしかめる。	
展開	③ すきなひらがな、もしくはすきな行ではじまる言葉をノートに集める。 ④ たくさんあつめた言葉から、好きな言葉を選んで、プリントに詩の形で書く。 ⑤ 友達と発表しあう。	・机間指導し、ひらがなの書けない児童を支援する。 ・言葉が思いつかない児童が多い場合は相談タイムをとり、隣の児童と相談してよいこととする。 ・話し方、聞き方を確かめてから行う。 ■ひらがなを読んだりかいたりできる（知識・技能）
まとめ	⑥ 詩を発表する。	

2024年 6月12日（水）5校時

2年1組32名

場所 2年1組教室

指導者 平林 拓

1 単元名 かたかなのひろば

2 指導計画（全2時間）

- ① 片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名を使って文を書く。
- ② 書いたもの以外の片仮名の言葉を探し、書いて読みあう。

3 本時の目標

- ・片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。
- （知識・技能）【観察・ノート】

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価（評価方法）
導入	・片仮名を使った言葉はどんな言葉があるか出し合う。 ・めあてを読む。 かたかなのことばをつかって、文を書こう。	・スポーツ広場の挿絵を見て、学習活動への動機づけをする。 ・スポーツの名前や、外来語に片仮名が使われていることに気づく。
展開	・片仮名の読み方を確認する。 ・書いてあるもの以外の片仮名の言葉を探し、それを使って文を書いたり、動物たちの会話を考えたりして、片仮名を使って会話文を書く。	・長音、促音、拗音、濁音、半濁音は丁寧に確認する。 ・全員で声に出して読みながら確認する。 ・スポーツに関連した片仮名の言葉を集め、興味を広げる。 ■片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、正しく文や文章の中で使っている（ノート）
まとめ	・書いた文を読みあう。	・これからは、正しく片仮名を使って文を書くように伝え、まとめる。

2024年 6月12日(水) 5校時

2年 2組 33名

場所 2-2 教室

指導者 永瀬 穂波

1 主題名 みんなが使うもの(みんなが使うものを大切に) C:規則の尊重

2 教材文 『かくした ボール』(東京書籍 「新編 新しい 道徳」 第2学年)

3 ねらい 約束やきまりの大切さを知り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	1 みんなで使うもののきまりについて話しあう。 ① みんなが使うものには、どんなものがありますか。 ・教室の本。 ・一輪車 ② それらの使い方には、どんなきまりがありますか。 ・使ったら、片付ける。 ・大切に扱う。	○みんなが使うものの、使うときのきまりを発表させる。教室を見渡させ、みんなが使っているものを考えさせる。
展開	2 「かくしたボール」を読んで話し合う。 ① 「ぼく」はどんな気持ちで、一人で練習しているでしょう。 ・早く上手になりたい。 ・このボールをずっと使いたいな。 ・みんなに交じって、ボール蹴りができるようになりたい。 ② 「ぼく」はどんなことを考えながらボールを隠そうとしたのでしょうか。 ・見つかったら、おこられるかな。 ・ほかの子にとられたくない。 ・一つぐらい返さなくてもわからない。 ③ 6年生の言葉を聞いてはっとした「ぼく」は、どんなことを考えたのでしょうか。 ・今度からは、きまりを守ろう。 ・ちゃんと片付ければよかった。 ・6年生はみんなのことを考えていてすごい。 3 自分たちの生活について考え、話し合う。 ① みんなで使うものを大切に使えたとき、どんな思いでそうしましたか。	○場面絵を活用して教材を提示する。 ○「ボールはきちんときめられたばしょにかえしましょう。」という字が見えたにもかかわらず、片付けるふりをしたことに触れて発問する。 ○考えにくい児童には、まず6年生の思いを考えてみるように促す。 ■きまりについて多面的・多角的に考えることができたか。 ■みんなで使ものを大切に扱うことのよさを感じることができたか。
まとめ	4 みんなが使うものを大切にしている学級の様子について、教師の話を聞く。	○みんなで使うものを大切に扱っている児童の姿を紹介する。

2024年 6月12日(水)5校時
2年3組 32名
場所 2年3組教室
指導者 竹下 志穂

1 単元名 にこにこフルーツパフェを作ろう!

2 指導計画(全3時間)

- ⑩ フルーツの言い方や好きかどうか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ⑪ 友達の喜ぶパフェを作るために、好きなものを伝え合う。
- ⑫ 作ったパフェを紹介し合う。

3 本時の目標

- ・友達の喜ぶパフェを作るために、好きなものを尋ねたり答えたりする。
(思考・判断・表現)【観察・ワークシート】

4 本時の展開

	○学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	○Greeting ・挨拶をする。 ○Warm-up ・英語の歌を歌う。 ○Review ・フルーツの言い方や好きかどうか尋ねたり答えたりする表現を復習する。 ○Today's Goal ・本時のめあてを確認する。 ・自分のめあてを決める。 好きかどうか聞き合って、○○さんの喜ぶパフェを作ろう!	・代表児童が挨拶を始め、外国語活動の明るい雰囲気をつくる。 ・前時までの児童の様子や復唱する声の大きさから、不安な表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しめるようにする。 ・自分のめあてを決めることで主体的に学習に取り組めるようにする。
展開	○Let's Play(BINGO) ・好きかどうか尋ねる BINGO に取り組む。 ○Activity(パフェを作ろう) ・友達に好きかどうか尋ね、パフェの材料を選ぶ。 A: Do you like bananas? B: Yes, I do. I like bananas. A: Thank you.	・不安な単語や表現がないか確認し、自信をもって発話できるようにする。 ・相手に対して反応する等、よりよいコミュニケーションができている児童の姿を中間評価で価値づける。 ■友達の喜ぶパフェを作るために、好きなものを尋ねたり答えたりする。(観察)
まとめ	○Reflection ・本時の振り返りを書く。 ・振り返りを共有する。 ○Greeting	・振り返りシートを使い、児童のつまずきや成長が見取れるようにする。 ・本時での取り組みを称賛し、次時の学習への意欲を高める。